

◆新施設紹介

水質調査機器の概要

伊方原子力発電所から排出される温排水の影響を調査するため、発電所地先海域の水温、塩分等について、年4回18定点で3層（0、-5、-15m）を多項目水質計を使用して測定しています。

また、CODについて年4回同じ定点3層で採取した海水を持ち帰り、前処理後チオ硫酸ナトリウム水溶液を用いて、電動ビュレットを使用して測定しています。

しかし、多項目水質計は設置後7年、電動ビュレットは24年が経過し、老朽化しているため、今年度これらの機器を更新しました。



多項目水質計



電動ビュレット

本機器は平成27年度電源立地地域対策交付金事業で整備しました。